

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

基本理念

快適な暮らしをサポートする事業を通じてお客様の喜びを実現し、地域社会の豊かな発展に貢献する

営業利益
370億円程度

EBITDA
620億円程度

有利子負債／EBIT
7倍未満

自己資本比率
20%台後半

② 中長期の経営戦略

1. 既存事業の構造改革と新たな稼ぐ力強化

既存事業を構造改革し、新たな収益源の創出に取り組む

3. 選ばれる沿線の創造

沿線価値を高める施策で顧客に選ばれる地域形成

2. 不動産事業の抜本的強化

不動産事業を中心に事業ポートフォリオを強化

4. 新たな事業領域への拡大

既存事業以外の新規事業領域への進出

③ 対処すべき課題

① 経営環境の厳しさへの対応

- ・ 少子高齢化・市場成熟・競争激化への対応
- ・ エネルギー価格・各種コスト上昇への対応
- ・ 消費マインド低下への対策

② グループ総合力の最大化

- ・ 事業ポートフォリオの検討と最適化
- ・ グループ間シナジーの創出

③ 持続的経営の実現

- ・ サステナビリティの追求で次の100年への基盤構築

面接で使えるポイント

- ・ 運輸・流通・不動産・ホテル業を中心とした純粋持株会社体制で、地域社会との共生を重視した経営方針
- ・ Vision2030で2030年度営業利益370億円、自己資本比率20%台後半を目指す長期ビジョン
- ・ 既存事業の構造改革と不動産事業の抜本的強化で、次の100年の持続的成長を実現する戦略

証券コード 9003

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
3,076億円営業利益率
12.6%財務健康度
40点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 62.4（当サイト算出の参考指標）

要するに

純粋持株会社として機能し、2025年3月31日現在で47の子会社と6つの関連会社

主力事業・セグメント

- Merchandising 34.1%
- ホテル 26.3%
- 不動産 24.1%

強み・特徴（公開データから）

- 連結売上高3,076億円の事業規模
- 営業利益率12.6%の安定した収益性
- 将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

平均年収

974万円

陸運業内 2位/57社

平均年齢

46.6歳

陸運業内 14位/57社

平均勤続

14.0年

陸運業内 35位/57社

女性管理職

5.3%

陸運業内 26位/46社

男性育休

100.0%

陸運業内 5位/44社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 相鉄ホールディングスとエコデシックによる植物工場実証事業「そ

